



食品製造  
事業者

分類されない特徴のある取組

# 株式会社ロマンライフ

(京都府京都市山科区大塚北溝町30)



ー マールブランシュ・侘家古曆堂を運営し、食を通じて「喜びをリレーする」  
洋菓子の製造・販売事業および飲食店運営・物販事業者ー

## 背景及び経緯

コロナをきっかけに会社の体質を改善し、ヒトと時間の効率化を図った

## 取組等の目的

売上が80%減になった状況でも、社員を解雇せず雇用を維持し続けるため

## 具体的な内容

役員も含めて、全社員でコスト削減を徹底した。以前なら3人でやっていた事を2人でやる工夫や、1時間かかっていた作業を30分に短縮するなど作業効率アップに社員一丸となって努めた。



## 課題と展望等

コロナ前の右肩上がりの売上だった頃は、売上の上昇と共に社員も増員してきたが、この経験を元に売り上げが1.5倍に膨らんでも現在の要員でカバーできる体制になった。

## 株式会社野村佃煮

(京都府宇治市大久保町田原24)



—昭和6年から続く「家庭の味」を視点にした京都の老舗佃煮メーカー—

### 背景及び経緯

原材料費の高騰が生じながら、消費者は商品価格に敏感なため値上げができず、利益確保が難しいという状況がある。

### 取組等の目的

日本の原材料の仕入れ会社が、原材料の国際的な仕入れ競争に勝てていない。またそれに伴う原材料高騰による野村佃煮の販売商品の値上げを進めたい状況であっても、大手小売店が価格決定権を持っているため、値上げも難しく収益の確保が難しい状況を打破する為。

### 具体的な内容

単純な価格競争市場に左右されないため、付加価値のある大豆たんぱく商品の開発に力を入れている。  
こういった商品の購買層は単純な価格競争のみの商品選好に陥りにくいと考えている。



### 課題と展望等

現時点においては、大豆たんぱく商品は国内販売を進めているところではあるが、ゆくゆくはビーガンなどの需要を取りに行くため、ECサイトを通じたアメリカでの商品展開というのを進めていきたい。

## 株式会社豆政

(京都府京都市中京区夷川通柳馬場西入ル6-264)



— 明治17年創業。京名物「夷川五色豆」をはじめ、こだわりの豆菓子を販売 —

### 背景及び経緯

外出自粛などコロナの影響で急激に京都への観光客が減ったことで、在庫が余ってしまい食品ロスへの対策が必要となった。

### 取組等の目的

残ってしまった在庫の食品ロス対策。

### 具体的な内容

残ってしまった在庫を消費する対策として”コロナに負けるなセット”という詰め合わせを作りECサイトなどで販売した。その他、食品ロス対策として医師会や保証協会など、コロナ禍で負担のかかっている業界へ寄付などを行った。



### 課題と展望等

SNSを活用した通信販売の活性化や、今後は越境ECサイトなども活用した海外への販売も計画している。

## 大松食品株式会社

(大阪府大阪市東住吉区今林2-7-17)



— 「巻き寿司イノベーション」を掲げる冷凍巻き寿司を製造する大阪の企業—

### 背景及び経緯

コロナ禍における衛生面への関心の高まりを受け、今後海外への輸出を行う際に必要となってくる世界基準の衛生管理資格「FSSC22000」の取得を行った。

### 取組等の目的

コロナ禍における衛生面への関心の高まりへ対応する為。海外への輸出に対応する為。

### 具体的な内容

世界基準の衛生管理資格「FSSC22000」の認証取得を通じて、工場における正確な基準作りと厳密な管理を行った上での工場運営を行った。



### 課題と展望等

世界基準の衛生管理資格で製造された自社製品の海外への輸出を通じて、日本の和食文化を世界へ発信していきたいと考えている。

## 株式会社松岡製菓

(大阪府大阪市住之江区東加賀屋2-13-22)



— 昔なつかしい大阪名物「満月ポン」を製造する大阪の老舗メーカー—

### 背景及び経緯

「満月ポン」は大阪で産まれた自社製品であることから、大阪モン（大阪産）の認証取得を目指したいと考えた為。

### 取組等の目的

「満月ポン」は製造開始から50年以上にわたり、自社の愛され続ける名品であるということをPRする為。

### 具体的な内容

大阪産の取り組みは、大阪府で創設された当初より、認証を受けている。



# マリンフード株式会社

(大阪府豊中市豊南町東4-5-1)



マーガリン、チーズなど多彩な商品の製造・販売を手掛ける食品メーカー

## 背景及び経緯

以前よりチーズ代替食品の開発、製造、販売を行っていた。2007年より開発を進め当時は原料チーズの高騰で各社が値上げに踏み切る苦しい時期にあり、チーズ代替品の商品化に着手した経緯がある。

## 取組等の目的

チーズ代替品の販売強化、及び商品化

## 具体的な内容

チーズ代替品の主要な特徴は、乳脂肪の代わりに植物油脂を使用しているためナチュラルチーズに比べてコレステロール大幅カット、風味はチーズと遜色なく冷めても柔らかい、チーズよりもリーズナブルな価格で提供可能の3点。また、コロナ禍における消費者の健康意識・健康志向の高まりや地球環境の持続可能な発展（サステナビリティ）という現在のトレンドに結果的に調和し販売数の増加に繋がっている。

## 課題と展望等

昨年よりフードバンクを実施。大阪府豊中市の福祉協議会、大阪市のこども食堂のネットワーク関連団体に対して、ケースの端数や量目不可品（多かったり少なかったり）の提供を実施。今後も継続し取組を進める予定。

## 商品情報

『ヘルシーシュレッド』300g    チーズ代替品    コレステロール98%オフ

## 六甲バター株式会社

(兵庫県神戸市中央区坂口通1-3-13)



ー70年を超える歴史をもつ、自社ブランドQ・B・Bを世に送り出す製造事業者ー

### 背景及び経緯

六甲バターは「健康で、明るく、楽しい食文化の提供によって社会に貢献する」という経営理念の実現を目指しているが、地球温暖化や食料危機といった社会・環境問題が顕在化している昨今、このままでは私たちが貢献すべき社会の持続可能性が危ぶまれている。

### 取組等の目的

社会や環境が持続していくための活動を行うことで未来を健康にし、それにより社会の持続可能性を守ることで、最終的に当社の経営理念を達成することが目的である。

### 具体的な内容

「六甲バターサステナビリティ宣言」として、「『おいしい』で未来を健康に」を策定した。具体的には、以下の4つのステークホルダーに対してアクションを行う。

生活者に対しては、新しい食文化を提供する製品の開発や世界への食品輸出、現地製造販売による食文化の普及を目指す。

地球環境に対しては、太陽光発電等による温室効果ガス削減や食品廃棄物削減とリサイクル化、環境配慮包装の採用をしていく。

従業員に対しては、AIやロボットなどでの従業員の負担軽減、安全で公平な働き甲斐のある職場環境の提供を行っていく。

地域社会に対しては、学校給食や工場見学を通じて子供たちの食育や健康に貢献していく。

### 課題と展望等

それぞれのステークホルダーに対してのアクションを継続・拡大し、サステナビリティ宣言の実現を目指すことでSDGs目標の達成にも貢献していく。

## 東洋ナッツ食品株式会社

(兵庫県神戸市東灘区深江浜町30番地)



ー日本で最初のナッツのメーカーとして、兵庫県を中心に展開する老舗企業ー

### 背景及び経緯

企業の社会的責任（CSR）としての活動が、自社の企業価値として注目されるようになり、新たな取組みを始めた。

### 取組等の目的

自社の企業が立地している地域と連携することで、当社が地元根付いた企業であることのアピールを目的として実施した。

### 具体的な内容

毎年3月に自社敷地内で『アーモンドフェスティバル』を開催している。来場者は第1回の2,000人を皮切りに、近年では毎年2万人を超える来場者を記録するなど、地元では大きなイベントとなっている。



### 課題と展望等

コロナ禍になり、感染拡大防止の観点から3年間実施できていない。今後、2023年中に小規模で開催を予定しているが、密を避けるための来場者の導線確保等が課題である。

## 菊正宗酒造株式会社

(兵庫県神戸市東灘区御影本町1-7-15)



—創業以来、神戸・灘で日本酒「菊正宗」を製造し続ける老舗メーカー—

### 背景及び経緯

コロナ明けのインバウンド誘客を想定した「盃展示館」をオープンさせた。

### 取組等の目的

盃の歴史や歴代の盃を見学していただくことで、誘客へのPRコンテンツとするため。

### 具体的な内容

「盃展示館」「MEISTER FACTORY」「菊正宗酒造記念館」の3施設を組み合わせた展開を行い一回の来訪でお楽しみいただける内容にしている。



### 課題と展望等

他にない樽の製造から行っている様子を見て頂ける工房や、記念館への今後のインバウンド来訪客の需要に応えていきたい。



農林水産省 令和3年度

外食事業者等の事業継続のための事例調査等委託事業

新たな生活様式に対応した外食事業者・食品製造事業者の  
取組事例集

---

令和5年3月発行





発行者

株式会社 J T B 京都中央支店

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町167 AYA四条烏丸ビル2階

TEL 075-284-0173

作成者

株式会社サーベイリサーチセンター 大阪事務所

〒530-6011 大阪市北区天満橋一丁目8番30号 OAPタワー11階

TEL 06-4801-9231